



森の守護神

森ボラ 通信

第162号 2015年11月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

◆ローソン緑の募金賞受賞

10月15日溜池のキャピトルホテルで第4回いきものにぎわいコンテストの表彰式があり市民活動大賞の募金事業部門で当協会は首記の賞を頂きました。受賞理由は札幌市澄川環境林に於ける外来種ニセアカシア侵入地域の復興事業です。

この表彰式はGEA地球環境行動会議の開会式の中で行われて皇太子殿下のおことばのあと安倍総理大臣の来賓挨拶に次ぎアヒム・シュタイナーUNEP国連環境計画事務局長の基調演説の後に行われました。澄川の活動内容は英文にも訳されギア出席者にも配布されて誠に光栄でした。緑推と(株)ローソン環境・社会共生部の皆さんには大変お世話になりました。(文・酒井)



丸川珠代環境大臣との記念写真

追記：UNEPは7年ほど前にワンガリ・マータイさんの百万本植樹運動を主催されて当協会も2万本の植栽約束をして2万5千本実行した経緯があります。(文・酒井)

活動報告

◆80年のエコファーム 斎藤リンゴ園 ～林檎を美味しく食べるまで～

花摘：林檎の花は花叢葉（群がり生える）が放射状に開きその中央に5～6個の花が咲く。白色か淡紅色は品種によって異なるそうです。

摘果：林檎が大きく、美しくなるため、枝とのバランス（大きくなった時）枝が折れない様に。

袋掛け：摘果後、モモシクイガの防除や着色向上のため。

袋外し：果皮に葉緑素できにくく、アントシアンが多くなるので鮮やかな赤色が現れる。青色の林檎もある（ほんのりと色が入る）。



品種によって7月～11月まで収穫期。林檎はリンゴ属の植物を台木とし、栽培したい品種を接木して作るそうです。斎藤林檎園では22種類の林檎を作られている。

富士、王林、旭、北上、紅玉、茜（あかね）、昂林（コーリン）むつ、紅ふじ、つがる、やたか、スターキング、マッカム、さんさ、レッドゴールド、ピスタービラ、ノースクイン、レッドデリシャス、リチャードドデリシャス、ゴールデンデリシャス、アルプス乙

女。

機械では出来ない大変な作業でやっと収穫です。花の咲く前、収穫後と大切な作業はまだまだ沢山あります。紅葉を楽しみ、町並みを眺め、午前中の休息には、熱いお茶とお菓子、林檎など、いただき皆でおしゃべり。青空の下、林檎達に囲まれて楽しいひとときを過ごさせていただき、参加の度、感謝の心で一杯です。キタキツネも美味しいリンゴを一個失敬！！

(文・鈴木、写真・和田)

◆道民の森づくりに参加して

10月18日(日)道民森づくりネットワークの集いは今年から場所を野幌森林公園開拓の村に移し参加団体は32を数え日頃の活動を披露しました。場所柄森が好きとか、家族で散歩を楽しむ人が多く見られ秋晴れん一日を楽しんでいました。

我が協会の今年のキャッチフレーズは“森の変化を観察し、森を育てる色々な体験をしよう”と銘打って参加しました。クラフトの展示と作成、のこぎり切り体験、コスター作り、火起こし体験、ドングリ、クリのポット苗の配布とバリエーションを持たせた事で子どもから大人まで大勢の来客で賑わいました。この催しを通して来年4月からの親子森林教室の架け橋となることを願っています。(文・事務局)



◆テント改築



国土緑化推進機構ローソン緑の募金助成を頂き10月30日に澄川都市環境林のテント小屋の改築が終わりました。もう10年と古くなったこと、移動式製材機の尻が出てしまう事などからテント小屋は骨組みから改築されました。製材機はすっぽりと納まり前方のシロヤナギに喰いこんでいたロープが外され後方のバックヤナギ2本はテントの中に入り樹木を大事にしながらの改築でした。積雪まえに有難うございました。

(文・酒井)

◆歌オブナ林研修から思う事～ブナの木気候変動と移動 ①～

ブナ科の植物は樹木のみで、世界に8属およそ600種があり、そのうち日本には5属22種類あります。殻斗という殻の中に堅い皮の賢果をもつドングリやクリのような実のなる木の仲間であり、ブナ、クリ、トチノキ、コナラ、クヌギ、その他カシ、シイなど特にブナ・クリ・トチノキ。コナラなどは東日本が「ブナ帯文化」と言われるように私たちにとり縄文時代から非常に身近で重要な樹木でありました。

今回の研修旅行で黒松内「ブナセンター」の斎藤学芸員が説明された中で一つ・二つ面白い話がありましたのでここに記しておきます。ブナの黒松内低地北限にも関わることですが、現在よりも7℃ほど寒冷であった約2万年前の最終氷期(ヴェルム氷期)の最寒冷期には、ブナは北緯38度付近(新潟・福島付近)より以南にあったと考えられています。

その後、約 12,000 年前に最終氷期が終わり、温暖化が進みました。日本海側に暖かい対馬海流が流れ込み現在のように日本の日本海側は多雪な環境になりました。ブナはとりわけ多雪な環境と関わりが大きいのです。他の多くの樹木は湿った雪により生き残りが難しいのですが、しなやかなブナは雪の下に埋もれても春になると再び起き上がることが出来るのです。

人間に係る以前から新潟・東北などの多雪地帯ではブナの純林が形成されていたようです。ブナの純林とはいってもクリやミズナラなど多くの樹木が混在しており多様な森林を形成しています。(12月号につづく) (文・荻田)

◆北海道教育大学附属中学校からのインタビュー

3年生の総合学習の一環として取り組んでいるテーマ「今、自然はどうなっているのか、これからの未来自然と共存するために出来ることは？」について北海道森林ボランティア協会の活動を通してお話を聞かせて貰いたいとの事で3年生の伊藤慶香さんが来てくれました。



酒井さんと市山で1時半ほどレクチャーと討論では①世界、日本の森林の現状と課題②森林破壊が進む事で私たちの身近に起きている問題点はそして未来の自然はどうなって行きますか?③私たち若い世代が出来る自然保護についてどの様な事を期待されていますか?等々に付いて討論をしました。伊藤さんは今回のインタビューに備えてしっかり調査をして来られたので中身の濃いデスカッションでした。(文・事務局)

以下、このやり取りを学校で纏め報告した様子を手紙でいただいたので紹介します。

“実際に北海道森林ボランティア協会が植林の活動を大規模に行っている事がわかり、私達中学生には出来ない事だと感じました。小学校などの機関と協力して森林についての考えを深めたりレクレーションの場を設けていたことなど初めて知ることばかりでした。また、森林をただ増やすだけではなく、自然を保護するために解決しなければならない問題と関わっていて放置林やごみの不法投棄も視点においていたことが驚きでした。私が知っていた森林問題はごくわずかで深刻な問題になっているとは思いませんでした。私達ができることはごくわずかですが、未来を担っていく一人として森林に付いての知識を深め、問題に対する意識を持てるように学び共有して行きたいと思っています。(文・伊藤慶香)

●道教育大附属中学の研究発表会

先月3年生の伊藤さんが総合的な学習として「今自然はどうなっているのか、未来に自然と共存するために出来ることは」を研究に協会にも来られて11月14日その発表会があり西野、酒井が参加しました。よく調べ自分の意見も入っており、まとめも研究発表態度も素晴らしいものでした。



また父兄やゲストにも意見を述べる機会をくれるなど今の教育の先進性を感じました。

この発表会の中に以下のように自然関連のテーマが7件もあり次世代を担う若者にも私たちと同じ危機を持つものがあることを大変心強く感じました。

- ・「森林の減少」に対して私たちはどうあるべきなのだろう
- ・学生や社会人のような忙しい人がボランティア活動に参加するには・・・
- ・森林を守り生態系を維持するために私たちに・・・
- ・外来種による日本古来の生物への被害を防ぐには
- ・地球温暖化から生態系を守るためには・・・
- ・地球温暖化の対策で自分たちが身近で行えることは・・・ など。(文・酒井)

■ 今月の幹事会

出席者：市山・荻田・樫棒・加藤・清澤・酒井・高野・西野(梯)・矢澤・和田

1. 12月、2016年1月スケジュール・・・幹事会12月4日(金)
2. 第二回理事会原稿擦り合わせ・・・2015年度前期事業報告と会計報告(協会、森ボラ協議会)
3. 親子森林教室応募に向けての進捗状況・・・応募案内 ふりっぱー、ウォッチングガイドに掲載
4. 森林・山林多面的発揮機能対策進行状況・・・毎木調査A-1～4、B-1～2(61本)調査完了
5. さっぽろ花と緑のまちづくりフォーラム2015・・・11月28日(土)エルプラザ(3階ホール)活動事例発表(酒井)出席者(加藤、清澤)
6. 石狩ふれあい推進センター活動報告会・・・2016年2月25日(木)定山溪中学校体育館
講演の引き受け決定
7. 委員会報告
 広報委員会・・・親子森林教室のHP掲載 業務委員会・・・12月活動日の確認
 助成委員会・・・幌南の森：支援は散策路、倒木処理の活動を中心に
 冬期セミナーの件・・・12月安全管理者講習(森と緑専務理事鳥田様・林防災指導員増田様)
 1月13日 真駒内芸術の森緑の回廊基金代表新田様
8. その他
 - ・北海道教育大学附属中学校発表会(11/14)・・・酒井、西野出席
 - ・10月会計報告

■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
10月4日(日)	杉本宅	2	道民森づくりのクラフト作成
10月5日(月)	澄川	16	東橋いちい幼34名カミネッコン37鉢植栽(C-4)
10月6日(火)	リンゴ園	6	NHK“ほっとニュース北海道”で放映
10月7日(水)	リンゴ園	5	収穫
10月9・10日	烏柵舞の森	16	オイスカ・ユネスコ植樹祭支援
10月13日(火)	澄川	15	台風で倒木(9本)処理・第二大麻幼60鉢植栽
10月14日(水)	リンゴ園	2	収穫
10月15日(木)	有明	7	ギャップ地の整備・笹ボサチパー処理
10月16日(金)	リンゴ園	8	収穫
10月17日(土)	澄川/リンゴ園	7/6	桜台いちい幼稚園カミネッコン81鉢植/収穫
10月18日(日)	野幌森林公園	10	道民森づくりフォーラム2015
10月20日(火)	澄川	14	テント小屋整備・アカエゾマツ192本トドマツ40本ポット養生
10月21日(水)	有明/リンゴ園	9/7	札幌市役所現場視察/収穫
10月23日(金)	有明/澄川	9/3	避難小屋基礎杭設置/テント小屋柱、梁組み完了
10月26日(月)	澄川	13	澄南小3年生48名散策・ニセアカ萌芽処理作業
10月27日(火)	有明/澄川	6/1	ギャップ地調査・指標竹採取/テント小屋整備
10月30日(木)	澄川南小/澄川	2/16	3年生の樹名板絵付け作業/テント小屋改築完了・A-4冬期間伐木の選別作業
11月2日(月)	澄川	18	樹名板用支柱13本設置・E-2除伐木228本選定
11月4日(水)	澄川	8	B-1,2の標準木12本測定・E地区の作業道調査
11月6日(金)	ラルズビル	10	定期幹事会・第二回理事会擦り合わせ
11月7日(土)	リンゴ園	8	収穫・・・今年度の作業終了